

第2回公立岩瀬病院
中長期計画評価委員会会議録

平成25年3月29日

第2回公立岩瀬病院中長期計画評価委員会会議録

日時 平成25年3月29日（金）

午後2時

場所 公立岩瀬病院 新病棟会議室（2階）

議題

- 1 公立岩瀬病院中長期計画の進捗状況について
- 2 その他

出席委員（6名）

須賀川薬剤師会会長	関 惟和
須賀川市社会福祉協議会会長	小林 清三
須賀川青年会議所理事長	小山 雅弘
須賀川市健康づくり推進員会会長	後藤 幸子
鏡石町保健委員会副会長	高橋 孝平
玉川村住民代表	鈴木 一夫

欠席委員（3名）

須賀川医師会会長	西間木友衛
須賀川歯科医師会会長	廣田 哲夫
天栄村国民健康保険運営協議会会長	瀬和 正義

説明のため出席した者

企業長	伊東幸雄	総院長	吉田直衛
院長	三浦純一	副院長兼循環器内科部長	大谷 弘
副院長兼看護部長	安達恵美子	事務長	菅野俊明
医事課長	有賀直明	総務課長	塩田 卓
病院建設対策室長	鎌田大輔		

午後2時00分 開会

○総務課長（塩田 卓君）

本日の会議につきましては、須賀川医師会会長、西間木友衛様、須賀川歯科医師会会長、廣田哲夫様、並びに天栄村の国民健康保険運営協議会会長、瀬和正義様から、所用により欠席のご連絡をいただいておりますので、ご報告申し上げます。

また、吉田総院長と大谷副院長は、診療をしております、済み次第出席をしたということ、若干の遅参をお許しいただきたいという申し出がありましたので、お伝えいたします。

ただいまより第2回公立岩瀬病院中長期計画評価委員会を開催いたします。

それでは、初めに、前委員の西間木セツ子様にかわりまして、新たに、須賀川市社会福祉協議会会長、小林清三様、及び前委員の佐藤徹也様にかわりまして、新たに、須賀川青年会議所理事長であります小山雅弘様が選任されましたので、これより企業長から委嘱状を交付いたします。

（委嘱状交付）

○総務課長（塩田 卓君）

改めまして、委員の皆様をご紹介いたします。

須賀川薬剤師会会長、関惟昶様です。当委員会の副会長を務めていただいております。

次に、須賀川市社会福祉協議会会長、小林清三様です。

須賀川青年会議所理事長、小山雅弘様です。

須賀川市健康づくり推進員会会長、後藤幸子様です。

鏡石町保健委員会副会長、高橋孝平様です。

玉川村の住民を代表していただいております鈴木一夫様です。

引き続きまして、当院職員の紹介をいたします。

伊東企業長です。

三浦院長です。

大谷副院長兼循環器内科部長です。

安達副院長兼看護部長です。

菅野事務長です。

有賀医事課長です。

鎌田病院建設対策室長です。

総務課長の塩田です。どうぞよろしく申し上げます。

次に、企業長よりご挨拶を申し上げます。

○企業長（伊東幸雄君）

それでは、企業長の伊東でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

本日、年度末の大変押し迫った時期となりましたけれども、第2回になります公立岩瀬病院中長期計画評価委員会にご出席を賜りまして、まことにありがとうございます。

また、今会議より小林委員及び小山委員をお迎えし、新たな構成での委員会となりました。厚く御礼を申し上げます。どうぞよろしくお願ひをいたします。

当評価委員会は、本年度を初年度といたします5カ年計画、病院運営の指針でございます公立岩瀬病院中長期計画について、この取り組み状況の点検及び評価並びに今後の病院経営のあり方などについてご意見、ご提言をいただき、計画の着実な実施と今後の病院経営の改善を図るために設置をしたものでございます。

病院経営につきましては、平成21年4月施行の前計画、公立岩瀬病院改革プラン、これに基づきまして各種の改革、改善に取り組んでまいりまして、21年の翌年の平成22年度には、決算において経常収支比率が100%を超えまして7,900万円余りの収益が出るなど、一定の成果を残すことができました。

この計画を引き継ぎまして、今回の計画となるわけですがけれども、この間、平成23年の3月に東日本大震災が発生をいたしまして、当病院の運営にも大きな影を落とすこととなったわけでございます。

今年度から、前計画に引き継ぎまして、着実な安定的な経営を目指すために、新たな5カ年計画といたしまして、まず4つの基本方針、1つには救急医療体制の強化、2つ目には地域医療完結型医療の推進、3つ目には地域医療に貢献する人材の育成、4つに地域住民との協働による健康づくりの推進を掲げまして、これらの役割を果たすために7つほどの重点課題を設定をいたしまして、公立岩瀬病院中長期計画というものをスタートさせたところでございます。

先ほど申し上げましたけれども、東日本大震災によりまして、現在も被災した建物の一部を、外来のほうになりますけれども、一部を仮復旧しながら、外来診療に当たっております。診療室の確保、そして限られたスペースの中で、検査室、リハ

ドリなど機能を分散しながら業務に当たっておりますけれども、一定の制約がある中で、最大の業務効率を目指しまして、地域医療を守るために尽力をしているというところでございます。

加えまして、福島県の医療を取り巻く環境変化といたしまして、原子力発電所の事故も大きく影響しております。例えば、郡山市を中心に県中地域から、これは県の統計なんですけど、34人のお医者さんが県外に流出をしたという統計がございます。地域にとりましても、また当院にとりましても、地域医療を守るために勤務医をいかに招聘していくか、これが喫緊の課題というふうになっております。

このために、これまでも地域を挙げた取り組みといたしまして、須賀川、岩瀬及び石川地方地域医療懇談会というものを開催していただきまして、当地域で産み育てる医療の確保に向けた取り組みを進めてきておりますが、この会議、前回からは、今までは石川郡は石川町が代表して首長さんが入っておられたんですが、今会議から石川郡の全ての町村の首長さんが参加をするという構成になりました。こういう中で、県立医科大学に周産期・小児地域医療支援講座を開設していただきまして、産婦人科、小児科医の招聘に行政側としても積極的に対応していただいております。今後とも、地域医療を守るために行政と一体となって取り組んでいきたいと思っております。

また、東日本大震災からの当院の施設整備、復旧工事につきましてですが、昨年の9月から中央診療棟・外来棟、今工事中の建物ですけれども、建設工事を開始いたしております。今月末で建設工事の進捗率が30%と見込んでおりまして、10月末日の竣工に向けまして進行管理をしております。

この新しい中央診療棟・外来棟の設計思想でございますけれども、患者さん中心の医療を実践し、中核病院として地域の皆様に信頼される病院づくり、さらには、先ほど申しました中長期計画に掲げる災害に強い病院、あるいは地域に開かれた健康人も集う病院、こういったものを目指して整備をしております、この棟になりますが、新しい病棟と一体となって、急性期病院としての機能強化を進めます。また、その地域医療の中で病院の役割を果たしていくという考えでございます。

こういったように大震災からの復旧・復興も着実に進んでおりますことから、今後とも救急医療の、まずは地元引き受け率の向上、あるいは地域医療支援病院の指定に向けた紹介率・逆紹介率の向上、そして何よりも安定的な黒字基調の病院経

営を目指しまして、一層の取り組みの強化を図って、地域の皆様方から信頼される病院づくりを職員一丸となって進めてまいりたいと思っておりますので、委員皆様方の特段のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本日は第2回の評価委員会となりますが、議題は「公立岩瀬病院中長期計画の進捗状況」ということで、24年度の事業の進捗についてご説明申し上げます。この後、事務局から説明をさせますが、委員の皆様方には忌憚のないご意見をお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○総務課長（塩田 卓君）

それでは、次に、資料の確認をお願いいたします。

事前に郵送にてご送付させていただいておりますが、委員会の次第、あわせまして資料の1といたしまして、「公立岩瀬病院中長期計画の進捗状況について」ということで、冊子になっております資料になります。

あわせまして、本日、机のほうに配付させていただきましたものが、委員の名簿と当局の名簿、建設関連のほうでカラー刷りの表題になっております。あわせて参考としまして、設置要綱をお配りしております。

それでは、3番になりますが、前会長の西間木セツ子様が退任されましたので、これより会長の選出に入ります。本会設置要綱第4条第2項の規定により、委員の互選により定めることとなっておりますが、いかがいたしましょうか。

（「事務局一任」の声あり）

○総務課長（塩田 卓君）

ただいま事務局一任とのお声がありましたが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○総務課長（塩田 卓君）

ご異議がないようですので、事務局においてご推薦申し上げたいと思うんですが、よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○総務課長（塩田 卓君）

それでは、事務局からご推薦申し上げます。

会長に、須賀川市社会福祉協議会会長、小林清三様をご推薦したいと存じます。

ご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○総務課長 (塩田 卓君)

ご異議なしということで、それでは、会長に須賀川市社会福祉協議会会長、小林清三様をお願いすることといたします。

小林様におかれましては、お手数ですが、前の議長席のほうにご移動をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

(小林清三委員、自席から議長席へ移動)

○総務課長 (塩田 卓君)

それでは、ここで、会長から一言ご挨拶をいただきたいと思います。

よろしくお願いいたします。

○会長 (小林清三君)

皆さん、こんにちは。

このたび、本会会長をお引き受けすることになりました須賀川市社会福祉協議会会長の小林清三でございます。

私は、医療関係に関しましてはまことに素人でございますので、本会の円滑運営に最善の努力を傾注いたしまして、任務を全ういたしたいと思っておりますので、委員皆様方のお力添えをよろしくお願いいたします。

ご承知のとおり、本評価委員会は、病院運営の指針となります中長期計画について、この取り組み状況の点検や評価をし、計画の着実な実施と病院経営の改善を図る目的で設置されたものでございます。

本日の委員会は第2回目となりますが、委員会の所期の目的を果たすことができますよう、また本日の会議が有意義なものとなりますよう、委員の皆様方の自由闊達なご意見をお願い申し上げますとともに、あわせて議事進行にご協力をお願い申し上げます。簡単ではございますが、ご挨拶にかえさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○総務課長 (塩田 卓君)

ありがとうございました。

それでは、会議に入らせていただきます。

会議の進行につきましては、本会設置要綱第5条第1項の規定によりまして、会長が務めることになっておりますので、小林会長の進行でよろしくお願いいたします。

○会長（小林清三君）

それでは、会議に入ります。

初めに、「公立岩瀬病院中長期計画の進捗状況について」、当局からご説明をお願いいたします。

○事務長（菅野俊明君）

本日はどうもご苦労さまです。

私のほうから報告をさせていただきます。

「公立岩瀬病院中長期計画の進捗状況について」、資料1、この内容に沿って報告させていただきます。

目標達成のための具体的な取り組みとして、1、民間的経営手法の導入、民間病院会計に準じた会計制度の採用、目標については、割愛させていただきます。

この間の取り組みの実施状況。

会計システムの更新について検討を開始しました。これは、26年度実施予定の総務省の公営企業の会計制度が変わる予定になっております。これに向けた会計システムの更新の検討を開始したということで、現在3社のシステムのデモを実施中でございます。

平成26年度実施予定の公営企業会計制度改定に向けた準備を開始しています。主な内容としましては、①資産管理台帳の整備、②として、セグメント会計の実施、これは病院事業としては、本線の公立岩瀬病院の事業のほか、看護学院、訪問看護ステーションなど事業体がございますので、その事業体ごとに会計を実施しなさいという内容のものです。23年度決算によるシミュレーションも追加されました。公認会計士の指導を毎月定期的に受け入れております。

この課題についての自己評価としては、26年度新会計制度の実施に向けた準備を計画どおり実施。

次に、BSCの本格導入。

BSCにつきましては、6ページのほうに簡単に内容について触れております。バランス・スコアカードということで、これは経営管理手法ということで、全国のかなりの病院でも導入されて、管理を強めて強化してきているということで、これはもう既に公立病院の改革プランのほうで取り上げていた課題でございます。これにつきましては、院長BSCを第1次版として作成しました。また、2月23日、病

院幹部18名の参加で研修を実施しました。これについては、25年度5月末日まで職場B S Cを作成の予定でございます。

次に、2、収入増対策、医師の招聘。

取り組みの実施状況。

医師招聘会議を毎週開催し、医師招聘に向けた具体策を検討。県外医師招聘に向け積極的に取り組み、杏林大学、順天堂大学、日本医科大学、名古屋大学、山口大学を訪問、医師の派遣を要請してきています。順天堂大学より、4月から消化器内科医師の毎週火曜日の支援がこのほど決定をしております。

研修医の受け入れは、平成21年度より毎年1名ずつの初期研修の先生を受け入れてきております。来年度についても1名の先生の受け入れが既に確定しております。研修の機会を充実させるなどのインセンティブ実施を図った。女性医師の受け入れ体制の整備を図り、当直室を整備した。

自己評価としましては、指導医クラスの医師招聘以外は、計画どおり実施です。

次に、D P C対策。

D P C導入実施済みで、医療の効率的な運用を実施している。全国1,400施設以上の急性期病院で導入され、D P C病院間の比較検討を行い、経営改善の指標としている。診療情報管理室を、医師へ情報発信力を高めるために医局の隣に移動を行った。この管理室のちょうど向かいに移動を行っております。

自己評価といたしましては、計画どおり実施。

次に、地域連携。

紹介率、24年度目標40%に対して、実績は35%、これは2月までの平均でございます。逆紹介率、24年度の目標は30%、実績が31.8%。

オープンシステム委員会総会を開催、これは6月14日、参加者228名ということで実施をしました。オープンシステム勉強会の開催を毎月定期的に行っています。登録医の先生方は137名、2月末現在での登録の実績でございます。

国が進める包括ケアシステムに向け、院内に医療・保健・介護・福祉とのネットワークを考える研究会を9月に立ち上げ、毎月定期的開催。これは国のほうで24年度から、これは包括ケアシステムに向けてということで、既に政策が示されて、行政を中心にして取り組みを進めるということになってございます。

医師会の包括ケアシステム準備会、これに参加をした。1月29日、3月26日、2

回実施されていますが、院長、私、医事課長、3人で参加しております。

紹介率は目標に届かなかったが、その他は計画どおり実施。

次に、3、経費削減・抑制対策。人的資源の活性化。

取り組みの実施状況。

新入職員として、看護師15名、理学療法士1名、事務職2名、調理員2名を採用した。「公立岩瀬病院中長期計画」に掲げる基本方針、重点課題を積極的に推進するための体制を強化した。医師事務作業補助者を2名増員し11名体制とし、医師労働の軽減に取り組んだ。

自己評価。BSCについては25年度から実施、その他は計画どおり実施。

次に、4ページになります。医薬品・材料費の削減。

取り組みの実施状況としましては、後発品への変更を引き続き促進した。X線、CT造影剤の後発品導入を実施した。後発品の率、これは目標9.0%に達して、24年度実績は12月末現在で12.31%。評価としましては、計画どおり実施。

その他の経費削減。消耗備品一部について見直しを図り、経費削減を図った。電気、燃料費の削減に向け管理を強化、経費削減を図った。清掃、医事業務の委託業務を見直し、委託業務の圧縮を図り経費削減の実施を予定している。代替品の採用による経費削減、消耗備品等についても実施をした。評価としましては、計画どおり実施。

その他。医師負担の軽減。

取り組みの実施状況としましては、医師事務作業補助者、現在11名を配置しています。常勤医師の減に伴い、外来診療及び当直業務が負担増になっており、院外の診療支援について取り組みを行った。現在、外来の支援について、県立医大のほうから毎週12名の支援をいただいています。その他に、県内の先生中心ですが、毎週7名、県外の先生、毎週3名ということで強化をしております。自己評価としては、計画どおり実施。

経営形態の見直し。

独立行政法人化に向けた事務担当チームを立ち上げ、学習会を実施。自己評価、25年度以降の課題とした。

広報活動の強化。

出前講座を延べ33回実施しました。ホームページの更新を実施、内容の充実を図

ってきました。院長フェイスブックによる情報発信を開始し、これは10月から取り組みました。病院広報紙発行部数を500部から1,000部にふやしました。昨年の7月から実施をしています。中央診療棟・外来棟の建設状況をお知らせするページについても公開をしました。24年の4月から実施しています。

ホームページに対するご意見受付窓口のページを設置して、ホームページの改善に活用することとしました。病院広報紙の院内配置を見直し、バックナンバーの配置を行いました。新たに、病診連携で登録いただいている先生方を対象にした「連携通信」を新たに発行開始しました。ことしの1月から実施しております。自己評価としては、計画どおり実施。

患者満足度の持続的な向上。

外来ワゴンサービスを開始し、好評を得ている。これは昨年の5月から実施しています。外来ワゴンサービスについても6ページに簡単に紹介していますが、外来患者さんの待ち時間対策の一環として、ワゴンに、お茶、水、新聞、雑誌を積んで、直接外来の患者さんに声をかけながら手渡しをしているサービスでございます。

地域住民に対するアンケートを昨年8月、実施しました。配布数は1,814枚、回収は1,607、回収率は88.6%ということでした。アンケート結果の主な特徴としましては、当院に期待する機能については、救急医療に対する期待が72.6%、小児医療44.6%、救急医療については非常に高い方からの期待の声が多かったということでした。

また、急性期病院として、かかりつけ医からの紹介を、現在、病院では優先をして外来診療体制としてますが、これについては58.3%の方がご存じなかったという結果で、これは病院の情報発信力はまだまだ弱いのかなということと考えております。

病院の診療内容についてはよく知っていたが、「病院フェスティバル」や「楽楽けんこうウォーキング」の病院行事、これについても7割以上の方が知らないと答えられまして、これについても病院の情報発信力をもう少し強めることが課題だなというふうに認識しております。

以上、今年度1年間の目標に対する達成状況の報告でございます。

また、現在、中央診療棟・外来棟の建設に取り組んでおりますが、進捗状況については、鎌田建設対策室長のほうからあわせて報告をさせていただきます。

○病院建設対策室長（鎌田大輔君）

それでは、お手元の資料に基づきまして、現在、建設を進めております中央診療棟・外来棟の工事進捗状況と、概要的な計画についてお話ししたいと思います。

大きく「平成25年秋 完成」とタイトルをつけておりまして、ことしの10月末になりますけれども、目指して今建設を進めております。

基本的には、災害復旧、大震災で大破して使えなくなった、解体してはおりますけれども、この施設の後には外来棟、現在の外来では応急的な対応で診療を続けておりますけれども、そこに新たに外来棟を建設するというので、今回の中長期計画を実施する上での施設の一部として建設を進めております。

図面のほうで完成予想図ということで、これは釈迦堂川のほうから見た姿になります。右側は病棟の高層階で、7階建てになります。左側が今回つくっております中央診療・外来棟になります。地下1階の地上3階です。

病院全体の配置の中では、ごらんのような位置になりまして、左のほうに完成予想図としてつけておりますけれども、工程的には10月に新外来棟が完成しまして、当然、現在の外来棟からの引っ越しとか、あと医療機器の備品関係の整理とかをしまして、それを11月に予定しております。11月末ぐらいに外来棟をオープンしまして、その後、現在の外来棟を解体いたします。これが大体年度内ぐらいで、25年12月から26年の3月、4カ月、5カ月ぐらいで解体を終えまして、その後に更地にして、全体の駐車場関係を整備する。駐車場整備は25年度末、3月ぐらいから入りまして、4カ月から5カ月ぐらいを計画しておりまして、全体の完成が7月というふうに計画しております。

裏のほうになりますけれども、完成したイメージの予想図としまして、2階の屋上を庭園ということで、一般の方あるいは外来にいらした方など、庭園という形でウッドデッキとかつけてまして、憩いの広場みたいな形で整備します。あと、右側のほうは県道側から直接進入できる救急車専用の車路を設けまして、救急の対応を円滑に進めていくというような計画もしております。

現状の進捗率なんですけれども、先ほど企業長のほうから30%とっておりましたが、現在は1階の床、地下1階の空間なんですけれども、その型枠、鉄筋、そういったものを工事しております。

その下に、断面的にそれぞれのエリアを書いておりまして、さらに一番下にはそ

それぞれの部門ごとに3階から地下1階まで具体的にどういう部屋があって、どんな用途に使うというものを整備しますということで書いております。

現状で進めておりますのはこのような状況で、中長期計画の実現に向けまして建設を進めている状況です。

○会長（小林清三君）

ただいま「公立岩瀬病院中長期計画の進捗状況について」説明がございましたが、委員の皆様、ご質問、ご意見等がございましたら、ぜひお願いをいたします。

いかがですか、委員の皆さん。

○須賀川薬剤師会会長（関 惟昶君）

ひとつ教えていただきたいのは、地域連携の中で、医師会の包括ケアシステム準備会に参加したとございますが、このメンバーを教えていただけますか。

○会長（小林清三君）

関委員さんのほうからご質問がございましたが、当局のほうからご説明をお願いします。

事務長。

○事務長（菅野俊明君）

今、メンバー表は持っていないんですが、医師会のほうからは、会長、副会長、あと医師会の理事のほうで、医療連携、あと介護のほうとの連携、担当の理事の先生方は参加をされています。

病院については、公立岩瀬病院、須賀川病院、福島病院、池田記念病院、あとは南東北リハビリテーション、サービスステーションという構成で、あと人選は介護のほうと、あと市のほうからも参加をしていただくということが、この間の会議では医師会のほうからは報告をされています。

○須賀川薬剤師会会長（関 惟昶君）

そうすると、事務局とドクターだけということですか。

○事務長（菅野俊明君）

あとは、病院さんによって来られる方が、MSW、あとは連携医師の責任者だったりということで、その辺はもう各病院さんに任せられているような形でこの会には参加されているのかなというふうに思います。

うちのほうは、院長と私と医事課長、3人で参加をしているということでござ

います。

○須賀川薬剤師会会長（関 惟昶君）

わかりました。

○会長（小林清三君）

関委員さん、再質問ございませんか。

ほかの皆さん、いかがでしょう。あわせて、ご意見等も含めて。

○須賀川市健康づくり推進員会会長（後藤幸子君）

後藤でございます。

見せていただきましたけど、24年の4月からことしの2月までの達成状況ということで、ほとんどが実施ということで、やっていますよということの自己評価かなと思います。この中で約1年弱ですけれども、少しずつでも何か成果があるようなということが見えてきつつあるものがありましたら、教えてほしいなと思います。

中には、お医者さんが順天堂大学からお一人いらっしゃるよとはっきりしたものが出ていますけれども、あとのものについてはどうなのかなと。実施だけなので、現在このように取り組んでいらっしゃる状況はわかりましたけど、その少しずつでも何か変化があるよということがわかったところがありましたら、お願いします。

○会長（小林清三君）

後藤委員から質問ありましたが、当局からご説明願います。

事務長。

○事務長（菅野俊明君）

そういう意味では、1、2、3、4その他ということで、大体そういう意味では着実に取り組みについては前進をしてきているというふうに進んでおりますが、一番病院として最優先の課題かなというふうに認識しているのは、やはり医師招聘ということで取り組んでいるところなんですけど、常勤医で指導医クラスの先生が来ていただくようになれば本当に最高なんですけど、そこはなかなか実現できていなくて、2月に順天堂大のほうに企業長、院長のほうも直接訪問して、4月から内視鏡のカメラの先生が支援でお見えになって、週1回なんですけど、これが非常に大きな成果でございます。

そういう意味でも、引き続き杏林大学のほうにも、本当に常勤医クラスの先生をお呼びするというので、これについても須賀川市のほうと2月に一緒に教授のところに訪問してお願いしています。具体的な成果を25年度は期待したいというふうに考えております。

それから、医師の負担軽減にもつながるんですが、医師事務作業補助者、これは先生方のあくまでも診療支援なんですね。事務的な入力、データの集積、あとは診断書ですとか文書を、実務の先生方には必要なんですが、それを代行として配置している11名のほうで分担していますので、これについても随分本格的に取り組んでおりますので、かなり効果は出てきているということで、先生方からは好評でございます。

25年度、あと3名増員したいということで募集をしているところなんですが、これはなかなか応募者がまだ少なくて、今のところ2名ということなんですが、これについても着実に対処を強化して先生方の支援にさらに取り組んでいきたいと思っております。

○須賀川市健康づくり推進委員会会長（後藤幸子君）

ありがとうございました。

○会長（小林清三君）

よろしゅうございますか。

ほかにご質問等ございますか。

なければ、次に移っていかがでしょうか。

（「はい」の声あり）

○会長（小林清三君）

承知しました。

次に、「その他について」であります、委員の皆様から何かございませんか。

鈴木委員。

○玉川村住民代表（鈴木一夫君）

この際、若干お聞きしたかったんですが、数値目標があります。収支実績のほうを見ますと、目標値が書いてない部分がありますけれども、それよりはどうなんでしょう、これを見ると、私が感じた部分では、収益も費用のほうも全体的に目標よりかなり下がっている部分と、要するに計画している部分の費用の部分と

収益の部分がかなり差があるのかなという心配が少しあったものですから、6月と12月は一時金の部分で人件費が当然出る部分でありますけれども、どうしてもプラスの月が余りなかったようでありまして、1月は6,400万円くらいの黒字、そのほかの分についてはかなりのマイナスで、減価償却の部分を差し引いても、かなりマイナスなのかなと私個人的には思ったものですから。数値目標の24年度の部分を見た場合に、この目標と比較してどうなのか。3月末の段階で目標に届きそうなのか。そんな部分も踏まえて、ちょうど資料の中ではありますけれども、ご説明いただければ幸いかなと、こんなふうに思います。

○会長（小林清三君）

鈴木委員の質問に対して、当局から答弁をお願いします。

事務長。

○事務長（菅野俊明君）

3月含めて、これは来年度決算の準備をして報告をしたいなというふうには考えていましたが、一応資料ということで添付をさせていただきましたが、震災以降赤字がふえましたが、1年を経過して、患者数の伸びが計画どおり、予定どおり見込めなかったというのは収入の減に大きくつながってございました。

これは小児科の外来は火曜日、週1回休診にしたり、あと泌尿器科の先生が昨年の3月に退職されまして、また1名体制になりましたので、月曜日休診という形をとったりとかしたのですが、そういうことも直接患者数に影響しまして、外来、入院とも予定どおり進まなかったことが収益の減になりました。

当初240床ということで、看護師の配置含め、予定では平均病床数200の利用状況以上を考えていましたので、その体制にふさわしいコメディカルの体制を整えておりましたが、なかなか患者数には追いつかず、その分、これだけの人件費になりますので、その分収入が追いつかなかったというふうに今は考えております。

もう少し詳しい分析は、3月の結果を待って、次回報告させていただきたいというふうには考えております。

○企業長（伊東幸雄君）

今の説明でほぼ間違いはないんでありますけれども、3月に構成市町村のほうから約2億6,000万ほど一定の積算に基づく1年間分の不採算医療繰入金が入金されますから、その分を差し引きしますと、収支比率100%まではなかなか今言った

ような事情で行かないかもしれませんが、この見た目よりは相当収支というのは改善されると思っておりますので、決算のときに経常収支比率98～99%ぐらいは何とか持って行って、若干の収支損は出るかもしれませんが、この見た目よりはもう少し改善した報告ができるというふうには思っておりますので、なお6月ぐらいにはまた報告できるかと思っております。

○院長（三浦純一君）

医療の現場からすると、まだ震災の影響が明らかになって、外来は開いているように見えるんですけども、実は本来、外来の診療ができないところに検査部があったりして、そこで検査をしなくちゃいけないとか、あとは、雨が降るたびに雨漏りがかなり大量にあって、大雨の次の日に診療ができるのかどうかというようなこと、余りお金はかけられないんですけども、シートをかけたとかして、何とかやっているというのが現状で、外来そのものがものすごく狭隘化して、やりたいんだけど場所がないとか、そういったこと等、毎日看護師さんと医師とで、どこでやるかとか、どこを使ったら、あと、何曜日にどの先生が何時までいるから、あとその次に何時からどうしようかというようなことで、実はやっとやっとのところがあって、外来も悠々とやっているわけじゃなくて、狭隘化した中でやっているというのが現状です。今外来棟を建設中ですので、11月になったら何とかなるのかなという意味では、大谷副院長のところの循環器内科が今度1人常勤でふえるということなので、実際は循環器内科、今まで1人だったのが2人になったりとかということでそれなりの成果は上がっていますけれども、4月の1日から十分な診療を悠々と提供できるかということ、時間単位で、あなた何時まで、じゃ、あなた何時までというようなことで進めているのが現状で、大幅な例えば外来患者の増とかというのはなかなか望めない現状もありまして、その中での数値化だなというふうに考えています。

ただ、新しくなるのと、それからこれからいろんな方たちが手伝ってくださることになっていて、あと、整形外科なんかでも大学のほうをおやめになる方でもこちらに来て1日、2日手伝ってくださるといようなこと、それから外科のほうは、外科のトップのほう、私が本当はトップなんですけれども、私のすぐ下にいる者が交代になりまして、今度はDMA Tといって災害医療費の単位、あと、外科の指導医、それから消化器外科の指導医の免許を持っている者が来るので、

狭い中でも、震災の影響を受けながらも少しずつ充実した、ある程度の診療の質の高い医療ができんじゃないかなと思って期待しているところです。

○会長（小林清三君）

よろしいでしょうか。

そのほかに、ご意見など含めましてございませんか。

なければ、この辺で委員の方々のご質問、ご意見等を打ち切りまして、事務局のほうから何かご連絡ございますか。

事務局。

○総務課長（塩田 卓君）

事務局からご連絡をいたします。

次回、第3回の評価委員会につきましては、本年10月を予定したいと思っております。9月議会に決算報告ということで、決算の数字が含まれますので、その数字が確定しました後に、10月に皆さんにご説明をさせていただきたいというふうに思っております、10月の開催ということで予定をいたします。よろしくお願いいたします。

○会長（小林清三君）

ただいま事務局のほうから、第3回の評価委員会につきましては、本年10月を予定しているということでございますので、改めて、近くなったらご案内があるかと思っておりますので、よろしくお願いいたしますと思います。

ほかにございませんか。

ないようでございますので、それでは本日の会議は全て終了いたしましたので、以上をもちまして、議長の役を解かせていただきます。

ご協力、本当にありがとうございました。

○総務課長（塩田 卓君）

ありがとうございました。

これをもちまして、第2回公立岩瀬病院中長期計画評価委員会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

午後3時00分 閉会